



こんにちは！北区の日本共産党 やまべひろしです

子どもたちの食の安心、働く人たちの安心を 学校給食は民間委託 ではなく、直営に！

1月15日、2019年度 対市予算要求・交渉（「市民連」主催）が行われました（表面参照）。

暮らし、福祉、教育、なりわいなど、様々な分野からの要望が出されるなか、民間委託後の、北区 武蔵学校給食共同調理場から出されていた調理場内の温度や働く人の待遇改善の要望、くわえて食材の安全や地産地消について質問が出されました。

食材は熊本市内産を。地産地消の推進を！

交渉では保護者の方から、「民間委託になって食材がコスト優先になっていないか？」、「地産地消をしっかり推進してほしい」など質問、要望が出されました。

市は、「食材は市が一括購入しており、産地についても熊本市内産を最優先に、県内、国内産以外は使っていないので、食材産地の心配はない」と回答しました。

調理場職員の処遇改善を！—民間委託で最低賃金の時給762円に

民間委託になって調理場職員の待遇面での悪化が問題なっています。現在、北区 武蔵共同調理場の調理員は熊本県の最低賃金である時給 762円です。

真夏は調理場の温度が 49.5℃にまでなる劣悪な労働環境にくわえ、低賃金により、「もう仕事を続けられない」と数か月で辞めていく人が増え

ています。

これでは技術や経験の蓄積・継承ができず、おいしい給食を子どもたちに提供することはできません。

市は「人件費は、委託会社が決める」と説明しましたが、市が積算した委託の労務単価が従事者にちゃんと支払われるよう、市はしっかり監督すべきです。

調理場内の温度管理、環境改善は待ったなし！

交渉では、調理場のエアコン設置とトイレの洋式化も要望が出されました。昨年9月の一般質問で教育長は「(危険な調理場の高温について)19年度夏までには何とかする」と答弁。しかし今回、市は「エアコンの後付けは冷房効果がうすい」「別の方策を

検討中」と回答しました。武蔵調理場では昨年、熱中症のため2度も救急搬送されました。エアコン設置を早急に進めるべきです。

またトイレも、重い装備のまま中腰にならざるを得ない和式トイレは身体への負担が大きく、衛生面でも問題があります。

労働環境の改善と民間委託の見直しを

給食調理場の労働環境の問題は、そのまま子どもたちの食の安心にも直結する問題です。

安易なコスト削減のもと、劣悪な労働環境の温床になりかねない民間委託は見直すべきです。

【控え室から】
校区とんどや…継承していく大切さ
やまべひろし

地元・武蔵校区では毎年恒例で「とんどや」が行われます。毎年、前日の準備をお手伝いしています。近年、校区内の竹林が開発などでなくなってきました。最近ではお隣の弓削校区まで竹の調達に行っています。片道、徒歩15分の道のり。幹線道路や武蔵大通りを、大竹を担いだ行列が練り歩くさまは、なかなか壮観なものがあります。

私のとんどやの原風景は、いまから45年以上前。まだ現在の校区もなく、町内で始めたささやかなものでした。宅地造成により、同じ時期に地域に集まった私たちの親たちが、地域の伝統行事であるとんどやを始めようとしたり、その思いの奥には「これからこの地域の文化を、自分たちが造っていくんだ」という気概あったのだろう、と今では思います。

次は私たちがしっかりと継承していく番です。


